

日本学術会議地域研究委員会  
地域学分科会  
(第25期第6回) 議事要旨

日時：2022年5月15日 15:00～17:30

会場：ビデオ会議にて開催

出席者：小長谷有紀、松原 宏、矢野桂司、井口 梓、池口明子、岩瀬峰代、岡橋秀典、  
小林 知、小山良太、近藤章夫、曾我 亨、田原裕子、中澤高志、増田 聡、  
宮町良広、山川充夫、山崎孝史、吉田道代、佐無田光 (いずれも名簿順、敬称略)

議事概要

1. 前回(第25期第5回分科会)議事録確認  
第25期第5回分科会の議事録が承認された。
2. 報告
  - 1) 近藤章夫 連携会員(法政大学経済学部教授)  
「イノベーションの視点からみた日本の地域経済」  
近藤会員より、イノベーションについて可視化や定量化に向けた研究動向を紹介するとともに、製造業を対象にして、地域ごとのイノベーション活動についていくつかの定量的な分析結果が報告された。
  - 2) 山崎孝史 連携会員(大阪公立大学大学院文学研究科教授)  
「コザの力 - 基地の街の記憶と魅力」  
山崎会員より、2019年に沖縄市コザ地区で開かれた沖縄市中心市街地活性化協議会勉強会での講演「コザの力ー基地の街の記憶と魅力」をもとに、コザを琉米、人種、ジェンダーが複雑に対立・交錯した「境界都市」としてとらえ直し、そこで育まれた精神性を住民のみならず外来者にも伝える必要性が報告された。
  - 3) 小林 知 連携会員(京都大学東南アジア地域研究研究所教授)  
「地域研究・地域学とトランスディシプリナリティ (TD)」  
小林会員より、現実社会の様々な問題や課題に統合的な知を持って対処しようとする社会連携を視野に入れた学術活動の必要性について、近年議論されているトランスディシプリナリティ (Transdisciplinarity) の概念と地域研究・地域学の教育活動が報告された。
3. 今後のスケジュールについて  
宮町委員長より、分科会シンポジウムの企画と Good Practice 集の刊行について提案があり、承認された。